

第3章 質的調査から見る津久見市の人口の現状

1. 市民アンケート調査の実施

(1) 調査概要

「第6次津久見市総合計画（前期基本計画）」（計画期間：2026（令和8）～2030（令和12）年度）と、人口減少や地方創生の対策を方向付ける「第3期総合戦略」及び「第3期人口ビジョン」の策定にあたり、広く市民の皆様のご意見やご意向を伺うため、市民アンケート調査を表3-1のとおり実施しました。この結果を一部抜粋して示し、人口ビジョンへの反映を図ります。

表 3-1 市民アンケート調査の概要

項目	内容
調査目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現計画及び現戦略で実施してきた各種施策に関する重要度、満足度の把握・分析 ・ 雇用・働く環境、結婚・出産・子育て、将来のまちづくりに関する意向及び津久見市への施策要望の把握【次期計画・戦略、人口推計に活用】 ・ 出生希望の把握【目標人口設定に活用】
調査期間	令和7年3月19日～4月7日
調査方法	郵送配布・郵送又はWebにて回収
調査対象	市民 1,500 人を年代別に無作為抽出（2024年10月時点18歳以上人口 12,884人）
有効回収数	461件（郵送回収320件・Web回収141件）（回収率30.7%） → 信頼レベル95%・許容誤差±5.16%

(2) 集計方法

本アンケート調査では、「ウエイトバック集計」という方法によって集計を行います。これは、年代ごとにアンケートの回収数をなるべく同じにしたうえで、年代別の回収比率が人口構成比と同じになるように結果を補正して集計する方法です。補正前の結果から、年代ごとの傾向を高い信頼度で把握でき、さらに補正後の結果から、人口構成比に基づいた全体の傾向を示すことが可能になります。

この「ウエイトバック集計」を行うためには、すべての有効回答が「年代」の設問に回答している必要がありますが、有効回収461件のうち、4件が「年代」の設問に対して無回答であったため、以下、基本的にこの4件を除いた457件を有効回答として扱い、調査結果を示すこととします。

ただし、属性別の集計はウエイトバック集計の補正前の結果を用いるため、上記の4件を含む461件を有効回答として扱っています。

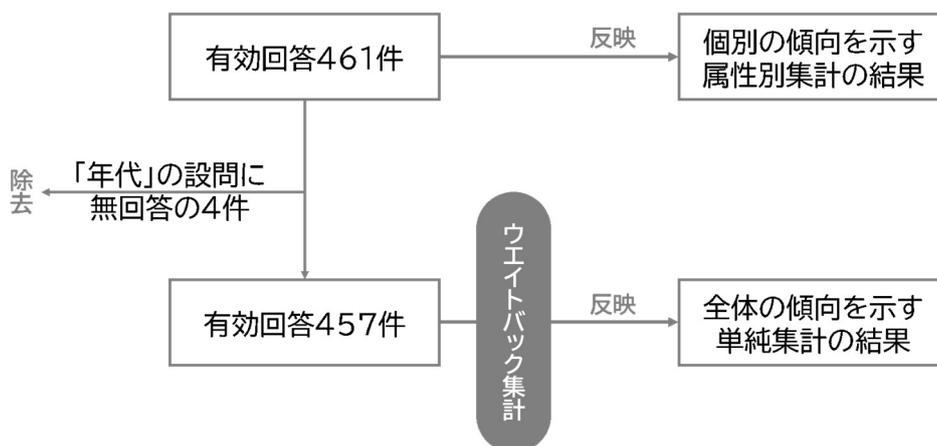
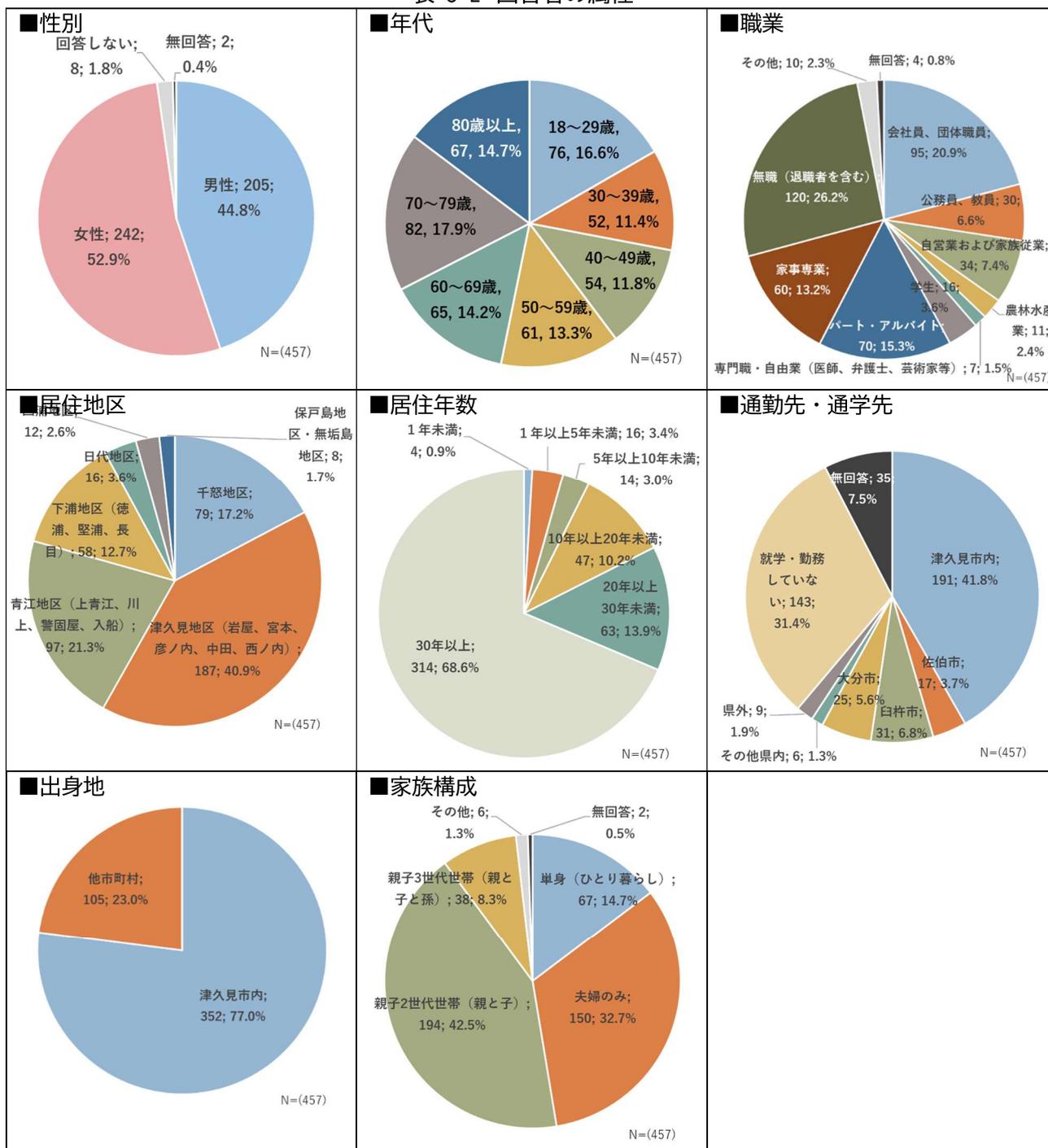


図 3-1 本調査の集計方法

(3) 回答者の属性

表 3-2 回答者の属性



(4) 調査結果

① 雇用の確保や働きやすさについて

Q16. 津久見市は働く場所が充実していると思うか

「とてもそう思う」「そう思う」を選んだ回答者は全体では15%に満たず、津久見市において働く場所が充実していないと多くの市民が認識していることがわかります。

また「とてもそう思う」「そう思う」を選んだ割合は、男性では約2割、女性では約1割と乖離しており、男女間でもその認識・印象には大きな差があることがわかります。

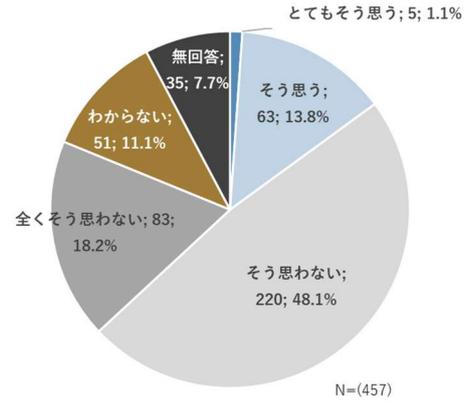


図 3-2 Q16 単純集計

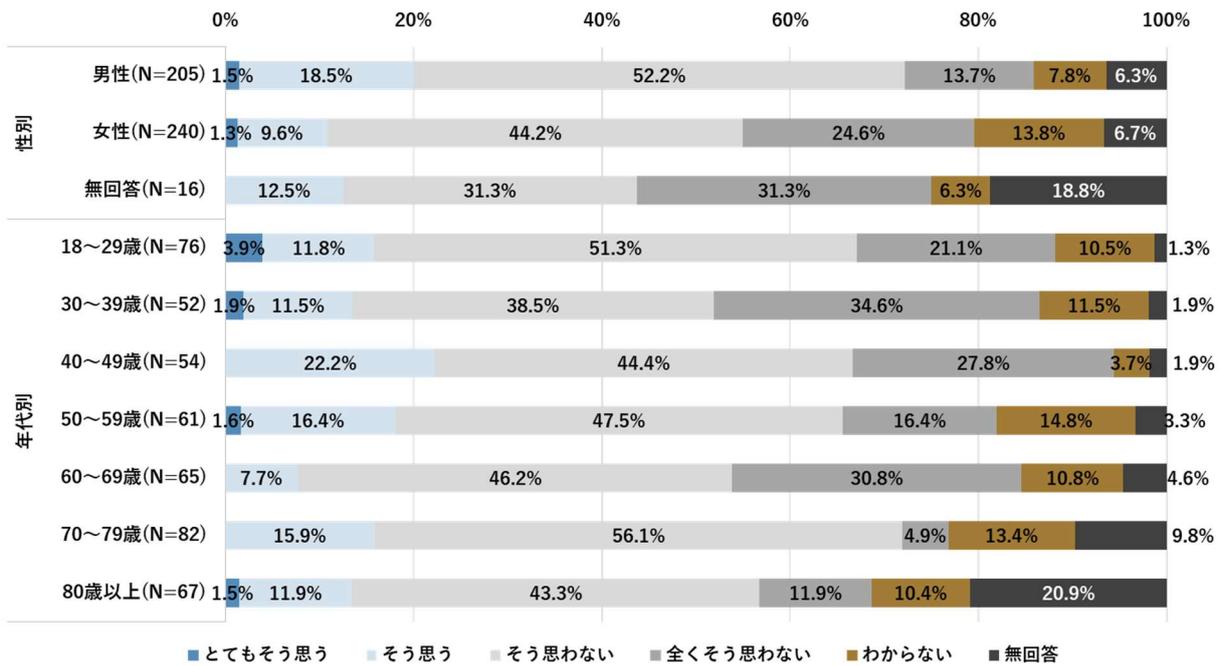


図 3-3 Q16 属性別集計

Q17. 働く場所が充実していると思う理由 (Q16で「とてもそう思う」「そう思う」を選んだ方)

最も多く選ばれた理由は「地元産業に関連する企業が多いから」であり、その割合は全体では73.0%と、男女別・年代別に見ても圧倒的に高い割合となりました。

一方で、「テレワーク・リモートワーク等、多様な働き方を推奨する職場が多いから」という理由を選んだ方は一人もおらず、津久見市において働く場所の多様化が進めば、さらに働く場所の充実が図られることが考えられます。

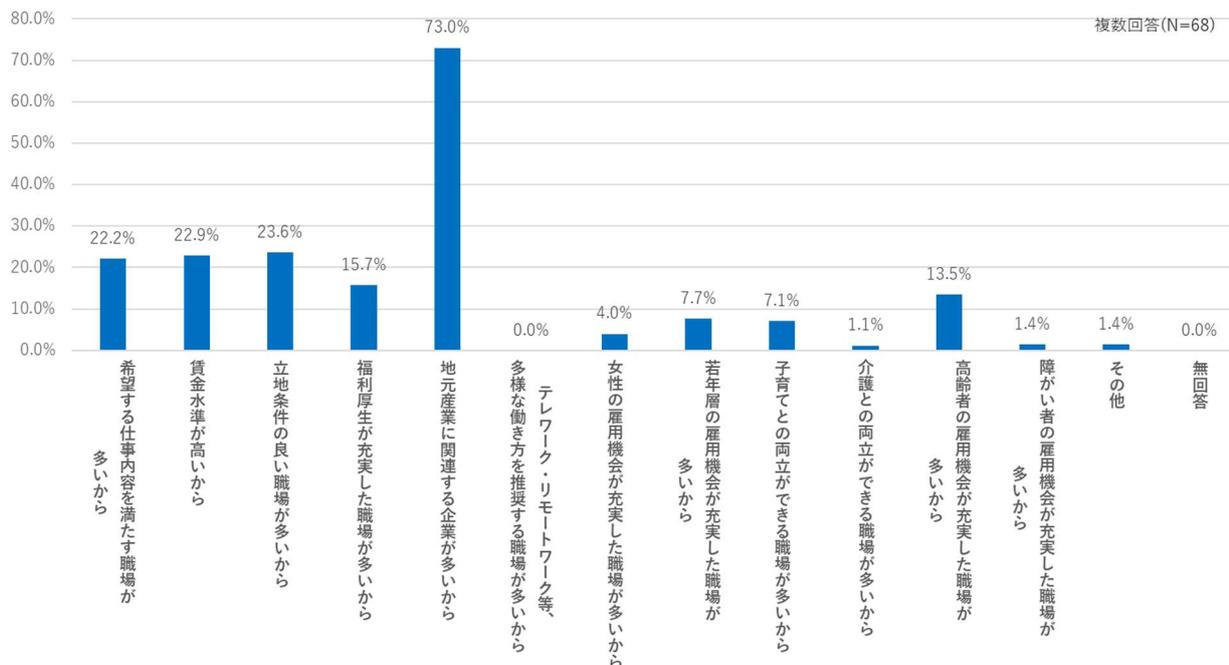


図 3-4 Q17 単純集計

表 3-3 Q17 属性別集計

	性別			年代別							
	男性 (N=41)	女性 (N=26)	回答しない・無回答 (N=2)	18~29歳 (N=12)	30~39歳 (N=7)	40~49歳 (N=12)	50~59歳 (N=11)	60~69歳 (N=5)	70~79歳 (N=13)	80歳以上 (N=9)	無回答 (N=)
希望する仕事内容を満たす職場が多いから	24.4%	23.1%		41.7%	28.6%	25.0%		20.0%	30.8%	11.1%	
賃金水準が高いから	26.8%	11.5%		16.7%		8.3%	18.2%	40.0%	38.5%	22.2%	
立地条件の良い職場が多いから	24.4%	19.2%		8.3%	14.3%	8.3%	36.4%	20.0%	23.1%	44.4%	
福利厚生が充実した職場が多いから	14.6%	19.2%			42.9%	8.3%	18.2%		30.8%	11.1%	
地元産業に関連する企業が多いから	78.0%	57.7%	100.0%	66.7%	42.9%	83.3%	63.6%	100.0%	76.9%	66.7%	
テレワーク・リモートワーク等、多様な働き方を推奨する職場が多いから											
女性の雇用機会が充実した職場が多いから	2.4%	7.7%			14.3%		9.1%			11.1%	
若年層の雇用機会が充実した職場が多いから	7.3%	7.7%		8.3%		8.3%	9.1%		15.4%		
子育てとの両立ができる職場が多いから	2.4%	19.2%		8.3%	28.6%	16.7%				11.1%	
介護との両立ができる職場が多いから		3.8%		8.3%							
高齢者の雇用機会が充実した職場が多いから	14.6%	7.7%		8.3%		8.3%		20.0%	23.1%	22.2%	
障がい者の雇用機会が充実した職場が多いから		3.8%						9.1%			
その他	2.4%							9.1%			
無回答											
		上位 1 位			上位 2 位				上位 3 位		

Q18. 働く場所が充実していないと思う理由 (Q16 で「そう思わない」「全くそう思わない」を選んだ方)

最も多く選ばれた理由は「希望する仕事内容を満たす職場が少ないから」であり、その割合は全体で71.4%、男女別・年代別に見てもすべての属性で約7～8割となっており、津久見市における仕事の分野に偏りがあることが推察される結果となりました。

また、年代別に見ると、30代の44.7%が「テレワーク・リモートワーク等、多様な働き方を推奨する職場が少ないから」という理由を選んでおり、これは他の年代と比べて高い割合となっています。

また、津久見市は、令和3年度の一人当たりの市町村民所得において、大分市の314万4千円に次いで305万8千円と県内で2番目に高いものの、多くの年代において賃金水準が低いと回答しています。(出典：大分県「大分の市町村民経済計算(R3)」)

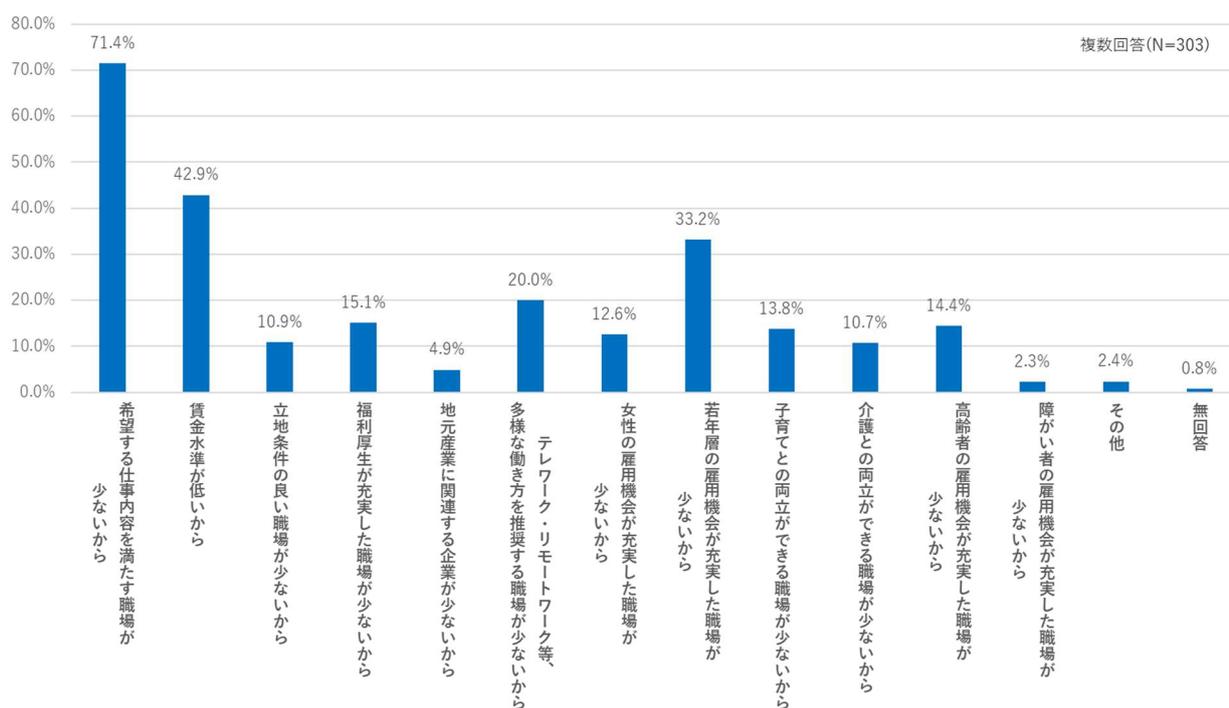


図 3-5 Q18 単純集計

表 3-4 Q18 属性別集計

	性別			年代別							
	男性 (N=135)	女性 (N=165)	回答しない・無回答 (N=10)	18～29歳 (N=55)	30～39歳 (N=38)	40～49歳 (N=39)	50～59歳 (N=39)	60～69歳 (N=50)	70～79歳 (N=50)	80歳以上 (N=37)	無回答 (N=2)
希望する仕事内容を満たす職場が少ないから	73.3%	71.5%	80.0%	76.4%	78.9%	76.9%	69.2%	68.0%	70.0%	67.6%	100.0%
賃金水準が低いから	43.0%	45.5%	50.0%	49.1%	52.6%	64.1%	46.2%	42.0%	38.0%	21.6%	
立地条件の良い職場が少ないから	11.1%	10.9%	10.0%	12.7%	7.9%	12.8%	20.5%	6.0%	12.0%	5.4%	
福利厚生が充実した職場が少ないから	9.6%	21.8%	20.0%	20.0%	26.3%	17.9%	10.3%	12.0%	14.0%	13.5%	50.0%
地元産業に関連する企業が少ないから	4.4%	4.2%			2.6%		2.6%	8.0%	8.0%	8.1%	
テレワーク・リモートワーク等、多様な働き方を推奨する職場が少ないから	23.0%	22.4%	40.0%	32.7%	44.7%	25.6%	28.2%	14.0%	10.0%	8.1%	50.0%
女性の雇用機会が充実した職場が少ないから	9.6%	13.3%	20.0%	9.1%	7.9%	12.8%	10.3%	18.0%	14.0%	10.8%	
若年層の雇用機会が充実した職場が少ないから	37.8%	25.5%	30.0%	32.7%	18.4%	15.4%	23.1%	34.0%	50.0%	37.8%	
子育てとの両立ができる職場が少ないから	11.1%	18.8%	10.0%	12.7%	31.6%	17.9%	17.9%	12.0%	10.0%	8.1%	
介護との両立ができる職場が少ないから	9.6%	10.9%		5.5%	5.3%	7.7%	20.5%	6.0%	14.0%	13.5%	
高齢者の雇用機会が充実した職場が少ないから	16.3%	9.1%		1.8%		2.6%	5.1%	32.0%	24.0%	13.5%	
障がい者の雇用機会が充実した職場が少ないから	3.7%	1.2%		5.5%			2.6%	2.0%	2.0%	2.7%	
その他	4.4%	1.2%		3.6%		7.7%	7.7%				
無回答		1.2%								5.4%	

② 結婚・子どもについて

Q20. 現在の結婚の状況

図 3-6 を見ると、約 2 割の方が未婚となっていますが、20 代以下に限ると約 85% が未婚であることがわかります。これは図 2-14 で示した、2020（令和 2）年国勢調査における 25～29 歳の未婚率（男性 84.2%、女性 71.9%）の値とおおむね一致しています。

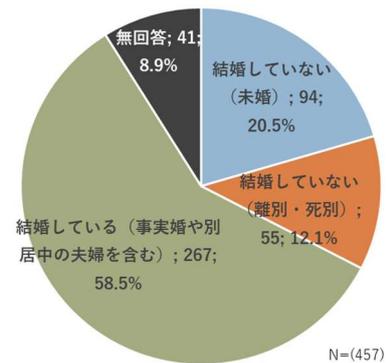


図 3-6 Q20 単純集計

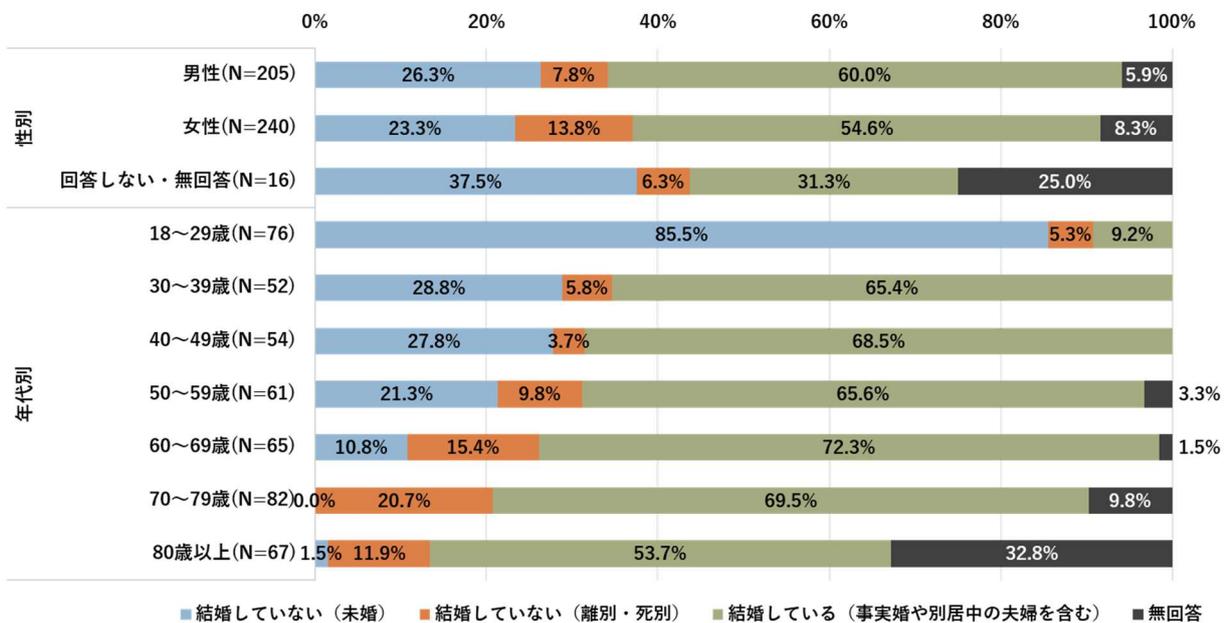


図 3-7 Q20 属性別集計

Q21. 結婚に対する考え方 (Q20で「結婚していない(未婚)」を選んだ方)

未婚の方の中で、結婚に対する考え方を聞くと、「すぐにも結婚したい」「2～3年以内に結婚したい」を選んだ方は全体では1割弱、30代以下で見ると1割強ほどであることがわかります。

しかし、上記の回答に加え「いずれは結婚したい」という方を含めると、全体では約半数弱、20代以下に限れば約7割という結果となりました。

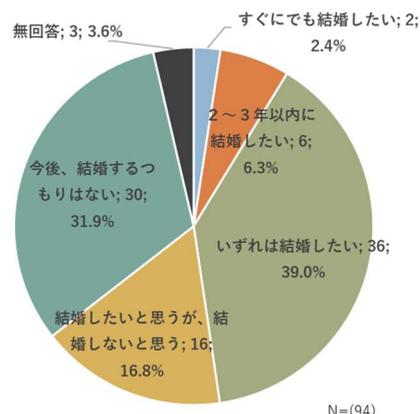


図 3-8 Q21 単純集計

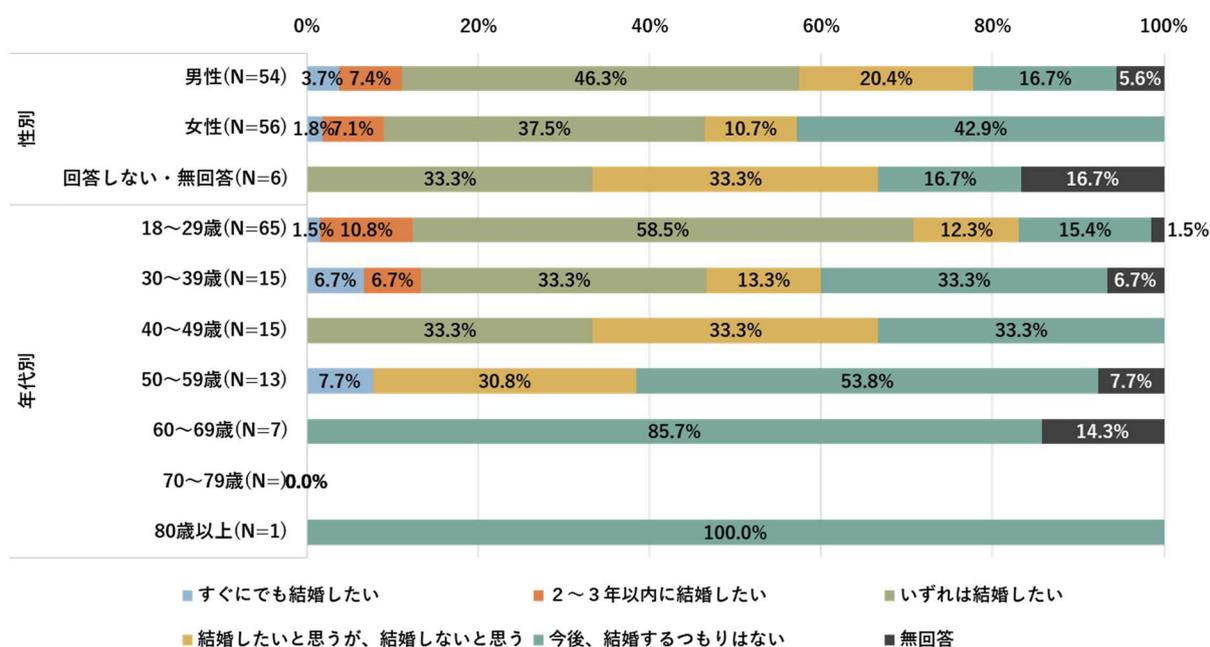


図 3-9 Q21 属性別集計

Q22. 結婚していない・結婚しない理由 (Q20で「結婚していない(未婚)」を選んだ方)

結婚していない、または結婚しない理由として、図 3-10 のとおり多様な意見が挙がりましたが、表 3-5 を見ると、男性の中では「結婚後の生活を送るための十分な収入が得られていないから」という理由が最も多く選ばれていることがわかります。また、「自分に合った相手に出会っていないから」「出会う機会(場)がないから」といった出会いの場について、男性の方が女性よりも回答の割合が高くなっています。

女性では、「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」という回答が最も高くなっており、特徴的なものとして、「結婚する必要性を感じないから」という理由が男性の16.7%に対して33.9%と約2倍となっており、結婚観について、男女で大きく異なることが分かりました。

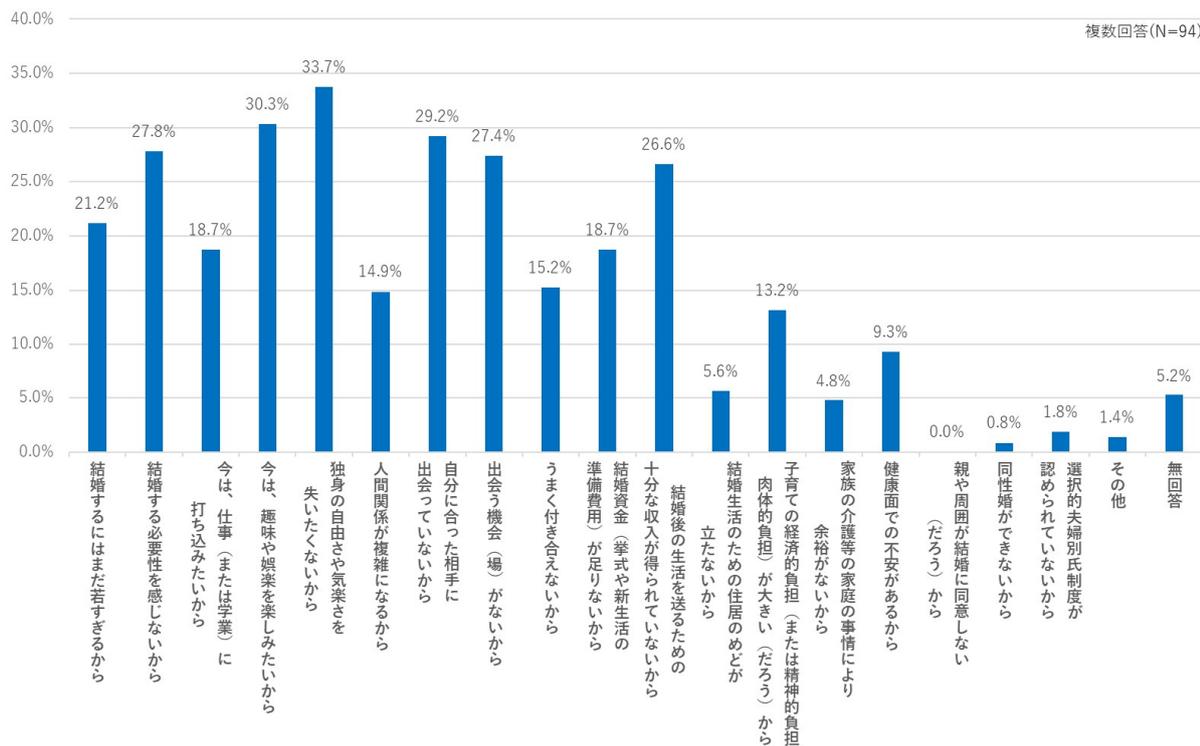


図 3-10 Q22 単純集計

表 3-5 Q22 属性別集計

	性別			年代別							
	男性 (N=54)	女性 (N=56)	回答しない・無回答 (N=6)	18~29歳 (N=65)	30~39歳 (N=15)	40~49歳 (N=15)	50~59歳 (N=13)	60~69歳 (N=7)	70~79歳 (N=)	80歳以上 (N=1)	無回答 (N=)
結婚するにはまだ若すぎるから	27.8%	19.6%		38.5%	6.7%						
結婚する必要性を感じないから	16.7%	33.9%	66.7%	21.5%	40.0%	26.7%	30.8%	57.1%			
今は、仕事(または学業)に打ち込みたいから	14.8%	23.2%	33.3%	29.2%	13.3%	13.3%					
今は、趣味や娯楽を楽しみたいから	27.8%	33.9%	50.0%	43.1%	33.3%		15.4%	28.6%			
独身の自由さや気楽さを失いたくないから	27.8%	37.5%	33.3%	32.3%	26.7%	33.3%	23.1%	71.4%			
人間関係が複雑になるから	7.4%	23.2%	16.7%	7.7%	40.0%	13.3%	23.1%	28.6%			
自分に合った相手に出会っていないから	31.5%	32.1%		36.9%	26.7%	26.7%	15.4%	14.3%			
出会う機会(場)がないから	31.5%	26.8%	33.3%	33.8%	40.0%	26.7%	15.4%				
うまく付き合えないから	14.8%	14.3%	33.3%	10.8%	26.7%	20.0%	23.1%	14.3%			
結婚資金(挙式や新生活の準備費用)が足りないから	25.9%	12.5%	33.3%	21.5%	26.7%	20.0%	15.4%				
結婚後の生活を送るための十分な収入が得られていないから	33.3%	19.6%	33.3%	29.2%	20.0%	33.3%	23.1%	14.3%			
結婚生活のための住居のめどが立たないから	9.3%	3.6%		7.7%	6.7%	6.7%					
子育ての経済的負担(または精神的負担、肉体的負担)が大きい(だろう)から	13.0%	16.1%	16.7%	16.9%	26.7%	13.3%					
家族の介護等の家庭の事情により余裕がないから	1.9%	7.1%			6.7%	13.3%	7.7%	14.3%			
健康面での不安があるから	9.3%	7.1%	16.7%	6.2%		33.3%	7.7%				
親や周囲が結婚に同意しない(だろう)から											
同性婚ができないから		1.8%		1.5%							
選択的夫婦別氏制度が認められていないから	1.9%	1.8%		1.5%		6.7%					
その他	3.7%			1.5%	6.7%						
無回答	3.7%	7.1%		1.5%	13.3%	6.7%	7.7%			100.0%	
		上位 1 位		上位 2 位				上位 3 位			

Q24. 現在の子どもの数

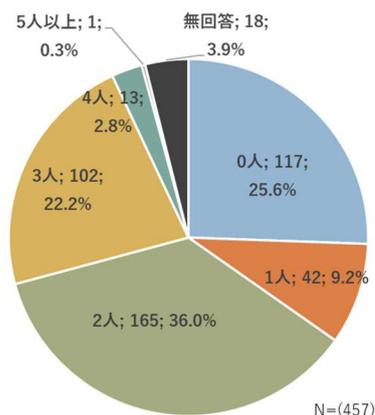


図 3-12 Q24 単純集計

Q25. 理想の子どもの数

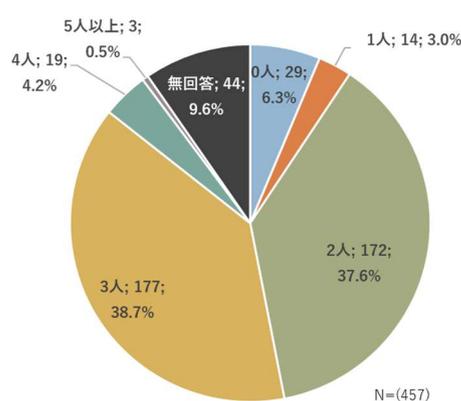


図 3-12 Q25 単純集計

現在の子どもの数と理想の子どもの数を比較すると、両者には大きな開きがありますが、全体の約8割が理想では2人以上の子どもを持ちたいと考えていることがわかります。

Q26. 現在の子どもの数が理想より少ない理由 (Q24 の子どもの数が Q25 の子どもの数より少ない方)

理想と現実の子どもの数の差について、「子育てや教育にお金がかかるから」という理由が多く挙げられており、また「将来の雇用 (収入) に不安があるため」という理由も一定程度多く挙げられています。このことから、子育てにかかる支出及びそれをまかなうための収入に対する不安がうかがえます。

表 3-6 Q26 属性別集計

複数回答(N=220)

	性別			年代別							
	男性 (N=114)	女性 (N=100)	回答しない・無回答 (N=6)	18~29歳 (N=58)	30~39歳 (N=38)	40~49歳 (N=21)	50~59歳 (N=29)	60~69歳 (N=22)	70~79歳 (N=27)	80歳以上 (N=25)	無回答 (N=)
結婚していないから	32.5%	28.0%	50.0%	67.2%	28.9%	33.3%	20.7%	13.6%	3.7%	4.0%	
子育てや教育にお金がかかるから	28.1%	38.0%	16.7%	20.7%	39.5%	38.1%	48.3%	36.4%	25.9%	28.0%	
家が狭いから	4.4%	1.0%		1.7%	2.6%		6.9%		3.7%	4.0%	
自分の仕事に差し支えるから	4.4%	8.0%			5.3%		10.3%	13.6%	3.7%	16.0%	
子どもがのびのび育つ環境でないから	7.9%	3.0%	16.7%	5.2%	10.5%	4.8%	6.9%	4.5%		8.0%	
自分やパートナーの生活を大切にしたいから	3.5%	1.0%		1.7%	2.6%		3.4%		3.7%	4.0%	
将来の雇用 (収入) に不安があるため	21.1%	17.0%	16.7%	10.3%	23.7%	28.6%	34.5%	13.6%	18.5%	12.0%	
健康上の理由により妊娠・出産が困難だから	5.3%	7.0%			5.3%	9.5%	10.3%	9.1%	11.1%	4.0%	
パートナーが望まないから	5.3%	2.0%			5.3%			4.5%	11.1%	8.0%	
自分またはパートナーが高齢だから	4.4%	10.0%			2.6%	23.8%	24.1%	4.5%	3.7%		
これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	2.6%	5.0%		1.7%	5.3%	4.8%	3.4%			12.0%	
パートナーの家事・育児への協力が得られないから		6.0%			5.3%		3.4%	4.5%	3.7%	4.0%	
末子が自分またはパートナーの定年退職までに成人してほしいから	0.9%	1.0%			2.6%		3.4%				
子どもが好きではない、または苦手だから	1.8%							9.1%			
子どもはほしいができないから	11.4%	7.0%	16.7%	1.7%	13.2%	4.8%	20.7%	22.7%	11.1%		
その他	1.8%	4.0%		1.7%	5.3%	4.8%	3.4%		3.7%		
無回答	15.8%	21.0%	16.7%	19.0%	5.3%	9.5%	13.8%	9.1%	29.6%	44.0%	
		上位 1 位			上位 2 位			上位 3 位			

2. 高校生進路アンケート調査の実施

(1) 調査概要

市民アンケート調査に引き続き、「第3期総合戦略」及び「第3期人口ビジョン」の策定にあたり、広く市民の皆様のご意見やご意向を伺うため、高校生進路アンケート調査を表 3-7 のとおり実施しました。市民アンケートと同様、この結果を一部抜粋して示し、人口ビジョンへの反映を図ります。

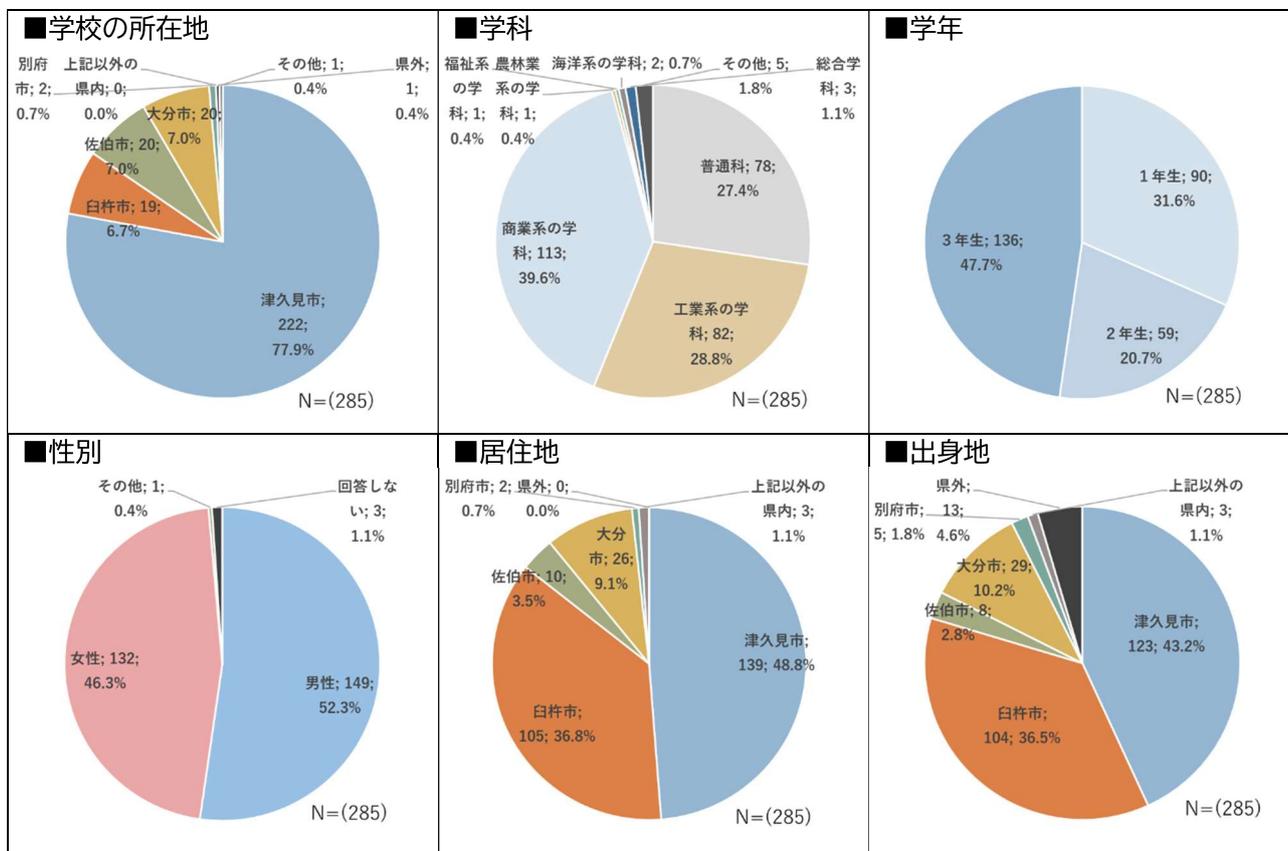
表 3-7 高校生進路アンケートの概要

項目	内容
調査目的	・ 高校卒業後の地元就職割合、IJU ターン希望の把握【人口ビジョンの目標設定に活用】 ・ 地元就職及び地元進学を選択する条件等の把握【総合戦略の雇用対策に活用】
調査期間	令和7年4月15日～5月9日
調査方法	郵送配布・学校を通じてWeb アンケート依頼を配布、Web で回収
調査対象	津久見高校の高校1～3年生 及び 市外の高校に通う津久見市在住の高校1～3年生
有効回収数	285件（回収率 52.1%） →信頼レベル 95%・許容誤差±4.02%

(2) 集計方法

市民アンケート調査とは異なり、高校生進路アンケートでは「ウエイトバック集計」を行わず、人口構成比等による補正をせずに単純集計及び属性別集計を行っています。

(3) 回答者の属性



(4) 調査結果

① 進路に対する考え

Q13. 希望の進路

高校生たちの進路の希望は、「大分県内で就職」が最も多かったですが、それ以外の選択肢も一定程度の回答を得る結果となりました。

また図 3-14 を見ると、男女別及び学科別で、希望の進路が大きく異なることがわかります。

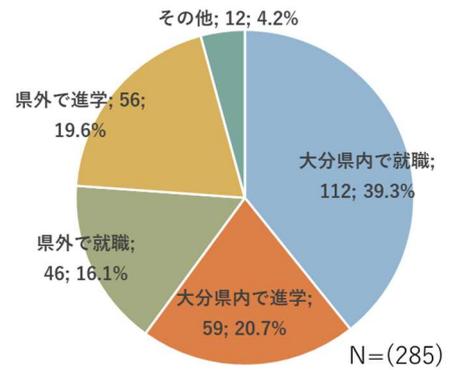


図 3-13 Q13 単純集計

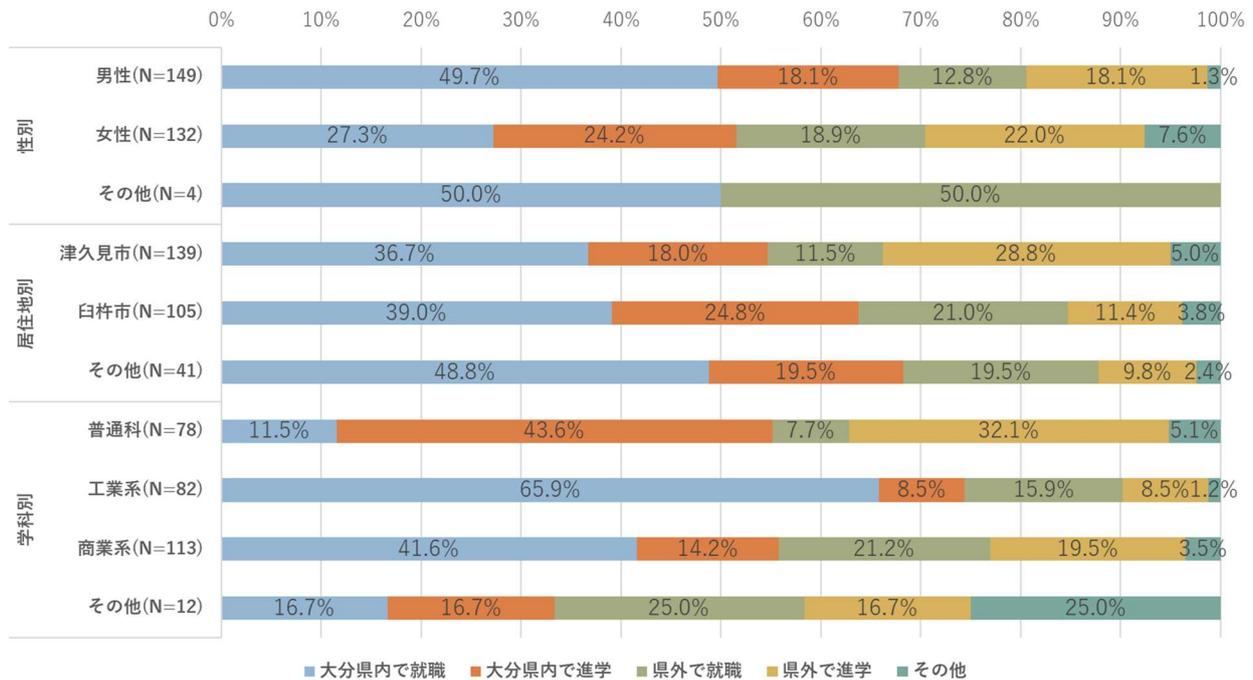


図 3-14 Q13 属性別集計

Q14. 県内就職を希望する理由 (Q13で「大分県内で就職」を選択された方)

県内就職を希望する理由として、「自宅から通いやすいから」が最も多く、次いで「希望する職種があるから」「家族がいて生活が助かるから」という意見が相次ぎました。一方で、津久見市や大分県への愛着を理由とした県内就職の希望はあまり見られない結果となりました。

表 3-8 Q14 属性別集計

複数回答N=(112)

	性別			居住地別			学科別				
	全体	男性 (N=74)	女性 (N=36)	その他 (N=2)	津久見市 (N=51)	臼杵市 (N=41)	その他 (N=20)	普通科 (N=9)	工業系 (N=54)	商業系 (N=47)	その他 (N=2)
希望する職種があるから	34.8%	37.8%	25.0%	100.0%	37.3%	29.3%	40.0%	55.6%	35.2%	27.7%	100.0%
家族がいて生活が助かるから	36.6%	36.5%	36.1%	50.0%	39.2%	29.3%	45.0%	44.4%	37.0%	36.2%	
給料などに満足できるから	16.1%	21.6%	5.6%		15.7%	12.2%	25.0%	33.3%	25.9%		50.0%
津久見市や大分のこと好きだから	20.5%	18.9%	25.0%		29.4%	19.5%		33.3%	16.7%	23.4%	
津久見市や大分県の発展につながる仕事 したいから	8.0%	9.5%	5.6%		13.7%	4.9%			13.0%	4.3%	
自分の夢を実現したいから	8.0%	4.1%	16.7%		3.9%	9.8%	15.0%		5.6%	12.8%	
自分がどこまでできるか試してみたいから	3.6%	2.7%	5.6%		2.0%	2.4%	10.0%		1.9%	6.4%	
親がすすめているから	8.9%	8.1%	8.3%	50.0%	15.7%	4.9%		22.2%	7.4%	8.5%	
友達がいるから	10.7%	10.8%	11.1%		7.8%	7.3%	25.0%	11.1%	9.3%	12.8%	
県外就職に関する情報がないから	13.4%	12.2%	16.7%		11.8%	19.5%	5.0%	22.2%	11.1%	14.9%	
自宅から通いやすいから	49.1%	45.9%	55.6%	50.0%	43.1%	58.5%	45.0%	22.2%	46.3%	57.4%	50.0%
その他	0.9%	1.4%			2.0%						2.1%

上位1位 上位2位 上位3位

Q15. 具体的な希望の就職先エリア (Q13で「大分県内で就職」を選択された方)

具体的な希望の就職先エリアについて、自身の居住地への就職を希望する傾向が一定程度見られますが、それ以外では基本的に大分市への就職を希望する割合が半数弱となっています。

県内就職を希望する津久見市に住む高校生のうち、半数以上が津久見市への就職を希望していることは前向きな兆候と言え、今後この割合をどこまで大きくできるかは重要と言えます。

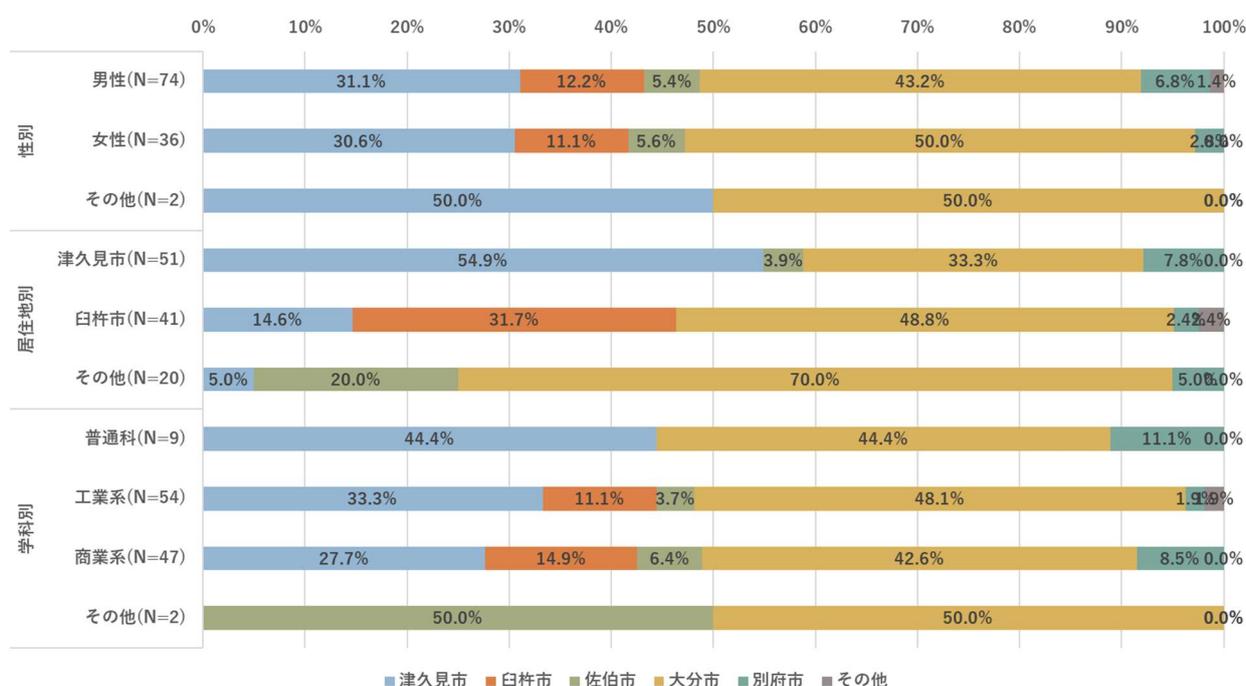


図 3-15 Q15 属性別集計

Q16. 県内進学を希望する理由 (Q13 で「大分県内で進学」を選択された方)

県内進学を希望する理由として、基本的に「希望する分野があるから」が最も多く、次いで「家族がいて生活が助かるから」「経済的な負担が少ないから」という意見が相次ぎました。

表 3-9 Q16 属性別集計

複数回答N=(59)

	性別			居住地別			学科別				
	全体	男性 (N=27)	女性 (N=32)	その他 (N=0)	津久見市 (N=25)	臼杵市 (N=26)	その他 (N=8)	普通科 (N=34)	工業系 (N=7)	商業系 (N=16)	その他 (N=2)
希望する分野があるから	61.0%	59.3%	62.5%		64.0%	53.8%	75.0%	55.9%	71.4%	62.5%	100.0%
家族がいて生活が助かるから	39.0%	40.7%	37.5%		32.0%	42.3%	50.0%	44.1%	57.1%	25.0%	
経済的な負担が少ないから	33.9%	51.9%	18.8%		24.0%	38.5%	50.0%	38.2%	71.4%	12.5%	
大分県内での就職に有利だから	3.4%	3.7%	3.1%		4.0%	3.8%		5.9%			
県外の就職先に役立つから	8.5%	11.1%	6.3%		8.0%	11.5%		5.9%	14.3%	12.5%	
親がすすめているから	6.8%	7.4%	6.3%		8.0%		25.0%	5.9%		12.5%	
友達がいるから	5.1%		9.4%		8.0%	3.8%		5.9%		6.3%	
他地域の大学や専門学校などの情報を知らないから	16.9%	18.5%	15.6%		24.0%	11.5%	12.5%	20.6%	14.3%	12.5%	
自宅から通いやすいから	23.7%	25.9%	21.9%		20.0%	26.9%	25.0%	26.5%	14.3%	25.0%	
その他											

上位1位 上位2位 上位3位

Q17. 具体的な希望の進学先エリア (Q13 で「大分県内で進学」を選択された方)

具体的な希望の進学先エリアについては、基本的に大分市への進学を希望する割合が約6～7割となっており、大学等への県内進学を希望する津久見市の高校生は大分市に集中する傾向が読み取れます。

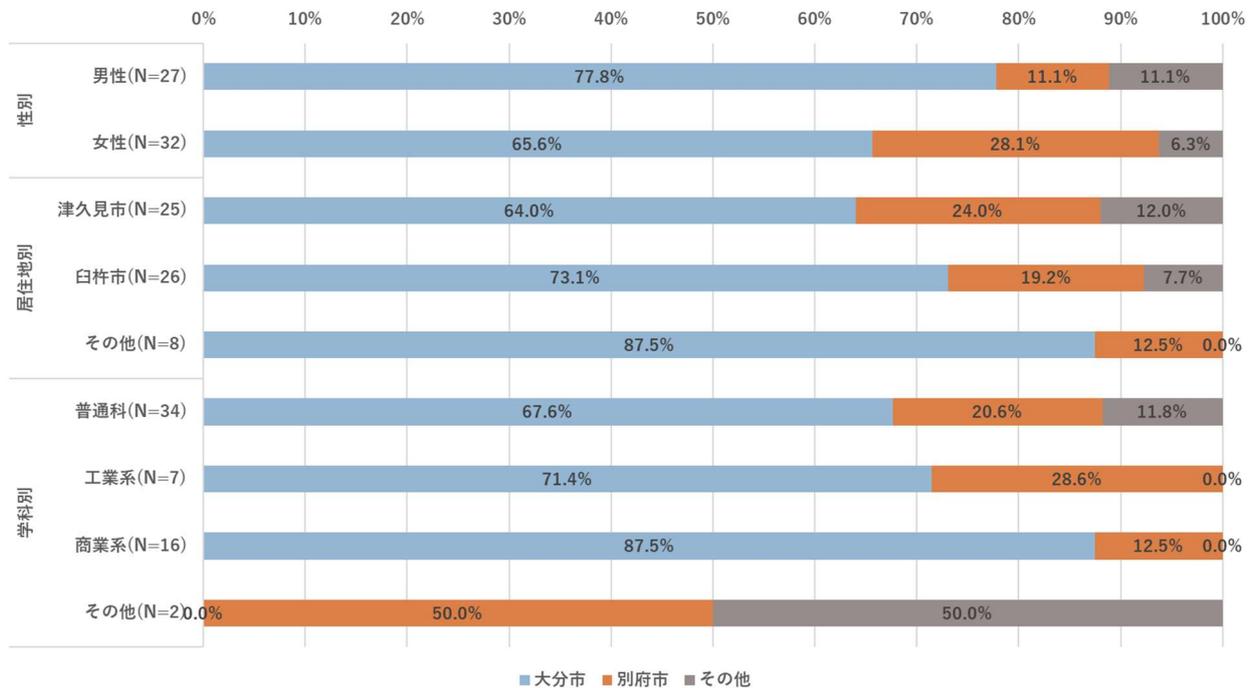


図 3-16 Q17 属性別集計

Q18. 県外就職を希望する理由 (Q13 で「大分県外で就職」を選択された方)

県外就職を希望する理由として、基本的に「自立したいから」が最も多く、「一度は県外に出たいから」という理由も一定程度挙がりました。またそれ以外にも、「希望する職種があるから」「県内より給料などに満足できるから」というような、県外の働く場所の充実度がうかがえる理由も一定程度見られます。

表 3-10 Q18 属性別集計

複数回答N=(46)

	性別			居住地別			学科別				
	全体	男性 (N=40)	女性 (N=49)	その他 (N=6)	津久見市 (N=34)	臼杵市 (N=42)	その他 (N=19)	普通科 (N=13)	工業系 (N=29)	商業系 (N=46)	その他 (N=7)
希望する職種があるから	32.6%	31.6%	32.0%	50.0%	25.0%	40.9%	25.0%	16.7%	53.8%	25.0%	33.3%
県内より給料などに満足できるから	26.1%	36.8%	20.0%		31.3%	18.2%	37.5%	16.7%	38.5%	20.8%	33.3%
自分の夢を実現したいから	23.9%	15.8%	32.0%		18.8%	27.3%	25.0%	33.3%	15.4%	29.2%	
自分がどこまでできるか試してみたいから	13.0%	15.8%	12.0%		18.8%	9.1%	12.5%	33.3%	15.4%	8.3%	
高度な技術を生かした仕事がしたいから	4.3%	5.3%		50.0%			25.0%		15.4%		
都会暮らしがしたいから	21.7%	15.8%	28.0%		18.8%	22.7%	25.0%	16.7%	15.4%	29.2%	
自立したいから	43.5%	47.4%	40.0%	50.0%	50.0%	40.9%	37.5%	66.7%	15.4%	45.8%	100.0%
親がすすめているから	4.3%		4.0%	50.0%	6.3%		12.5%		7.7%		33.3%
一度は県外に出たいから	37.0%	42.1%	28.0%	100.0%	43.8%	31.8%	37.5%	33.3%	46.2%	33.3%	33.3%
その他											
		上位1位			上位2位			上位3位			

Q19. 具体的な希望の就職先エリア (Q13 で「大分県外で就職」を選択された方)

具体的な希望の就職先エリアを見ると、福岡県を選んだ割合がどの属性でも多いことがわかりますが、津久見市に住む高校生に限ると、その割合は比較的小さく、それ以外の九州地方への就職を希望する割合が比較的大きいことがわかります。

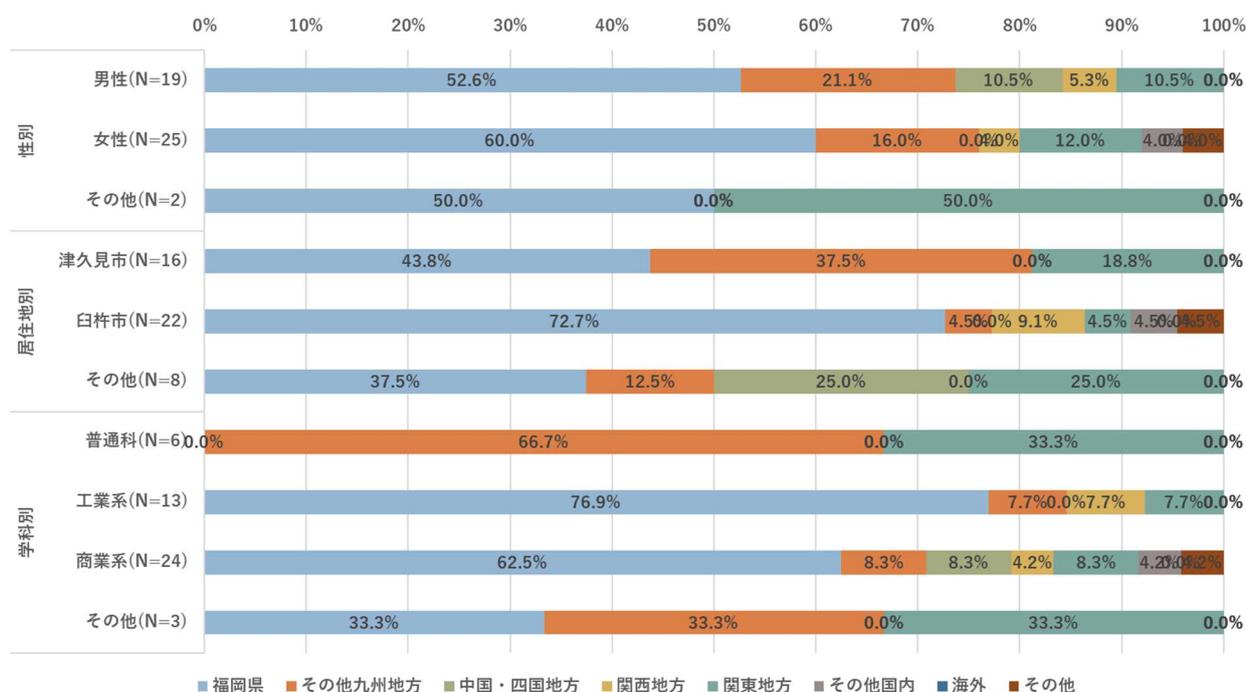


図 3-17 Q19 属性別集計

Q20. 県外進学を希望する理由 (Q13 で「大分県外で進学」を選択された方)

県外進学を希望する理由として、「希望する専攻・学科があるから」「自分の夢を実現したいから」といった理由が多く挙げられ、希望する専攻の有無が大きく関わっていることがわかります。

表 3-11 Q20 属性別集計

複数回答N=(56)

	性別				居住地別			学科別			
	全体	男性 (N=59)	女性 (N=57)	その他 (N=0)	津久見市 (N=85)	臼杵市 (N=22)	その他 (N=9)	普通科 (N=56)	工業系 (N=20)	商業系 (N=36)	その他 (N=4)
希望する専攻・学科などがあるから	46.4%	33.3%	58.6%		47.5%	50.0%	25.0%	36.0%	42.9%	54.5%	100.0%
県外での就職に有利であるから	16.1%	14.8%	17.2%		17.5%	8.3%	25.0%	20.0%	42.9%	4.5%	
県内に希望する専攻・学科などがないから	12.5%	11.1%	13.8%		12.5%	8.3%	25.0%	12.0%	14.3%	13.6%	
高度な学問や技術を学びたいから	25.0%	37.0%	13.8%		32.5%	8.3%		36.0%	57.1%		50.0%
自分の夢を実現したいから	44.6%	63.0%	27.6%		50.0%	16.7%	75.0%	44.0%	57.1%	40.9%	50.0%
都会暮らしがしたいから	12.5%	14.8%	10.3%		7.5%	16.7%	50.0%	16.0%	28.6%	4.5%	
ひとり暮らしがしたいから	23.2%	14.8%	31.0%		22.5%	33.3%		28.0%	14.3%	22.7%	
親がすすめているから											
一度は県外に出たいから	23.2%	22.2%	24.1%		17.5%	41.7%	25.0%	32.0%	28.6%	13.6%	
その他	3.6%	7.4%			5.0%					9.1%	
		上位1位			上位2位		上位3位				

Q21. 具体的な希望の進学先エリア (Q13 で「大分県外で進学」を選択された方)

Q19 の希望の県外就職先エリアとは異なり、県外進学先エリアについては、福岡県やその他九州地方に限らない、多様な地域への希望が見られました。しかしその中でも、基本的に福岡県への進学を希望する割合は、他のエリアと比較しても大きいことがわかります。

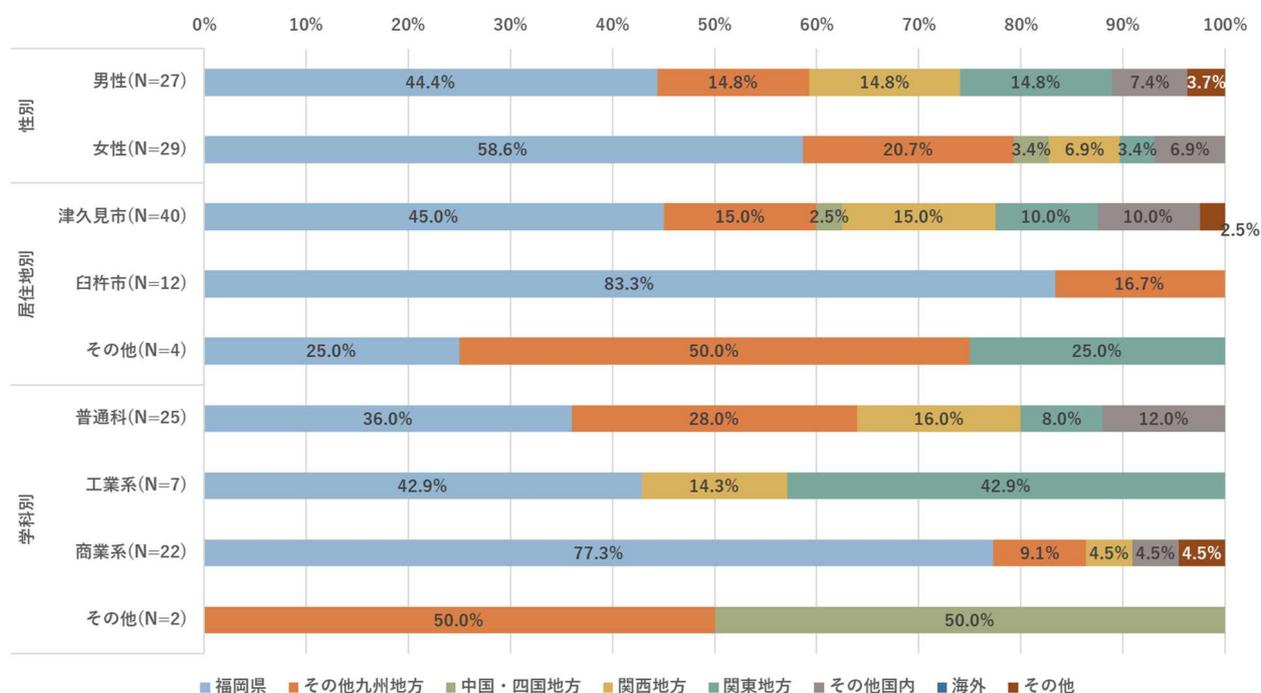


図 3-18 Q21 属性別集計

② 津久見市に対する印象

Q22. 津久見市に親しみや愛着があるか

津久見市への親しみ・愛着が「とてもある」「ややある」と回答した高校生は全体の約6割を占め、また津久見市に住む高校生に限るとその割合は約8割にも上がる結果となりました。

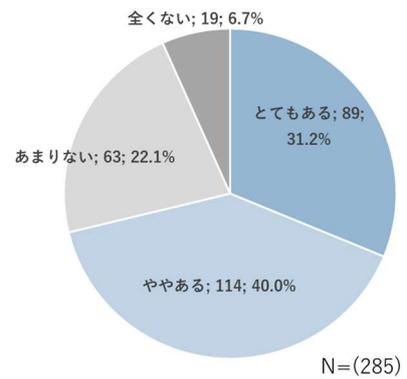


図 3-19 Q22 単純集計

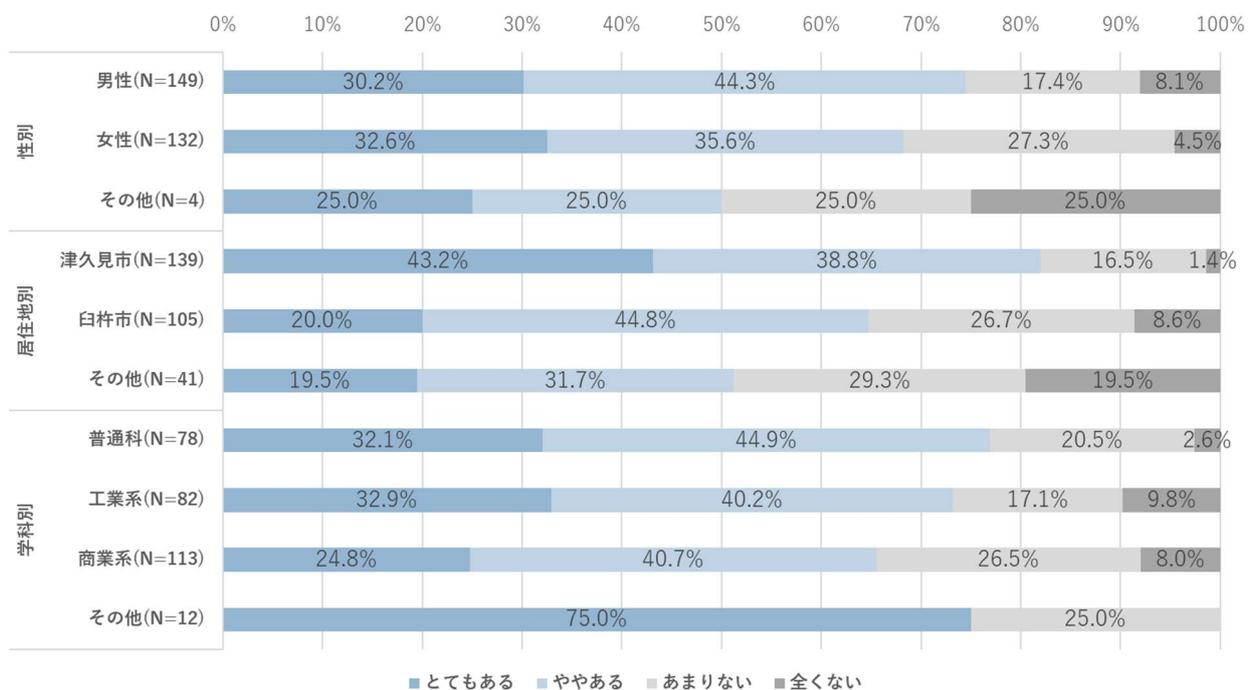


図 3-20 Q22 属性別集計

Q25. 津久見市の就職先の多さ・少なさ

津久見市の就職先が「とても多いと思う」「やや多いと思う」と回答した高校生は全体の約4分の1にとどまりましたが、これは「やや少ないと思う」「とても少ないと思う」と回答した高校生の割合とも同程度となっています。

しかし男女別・学科別で見ると異なる傾向が見られ、女性よりも男性の方が、また普通科・商業系よりも工業系学科の生徒のほうが、津久見市の就職先が多いという認識を持っていることがわかります。

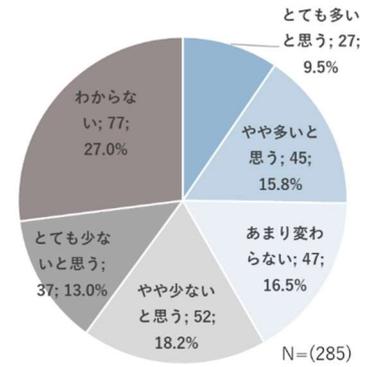


図 3-21 Q25 単純集計

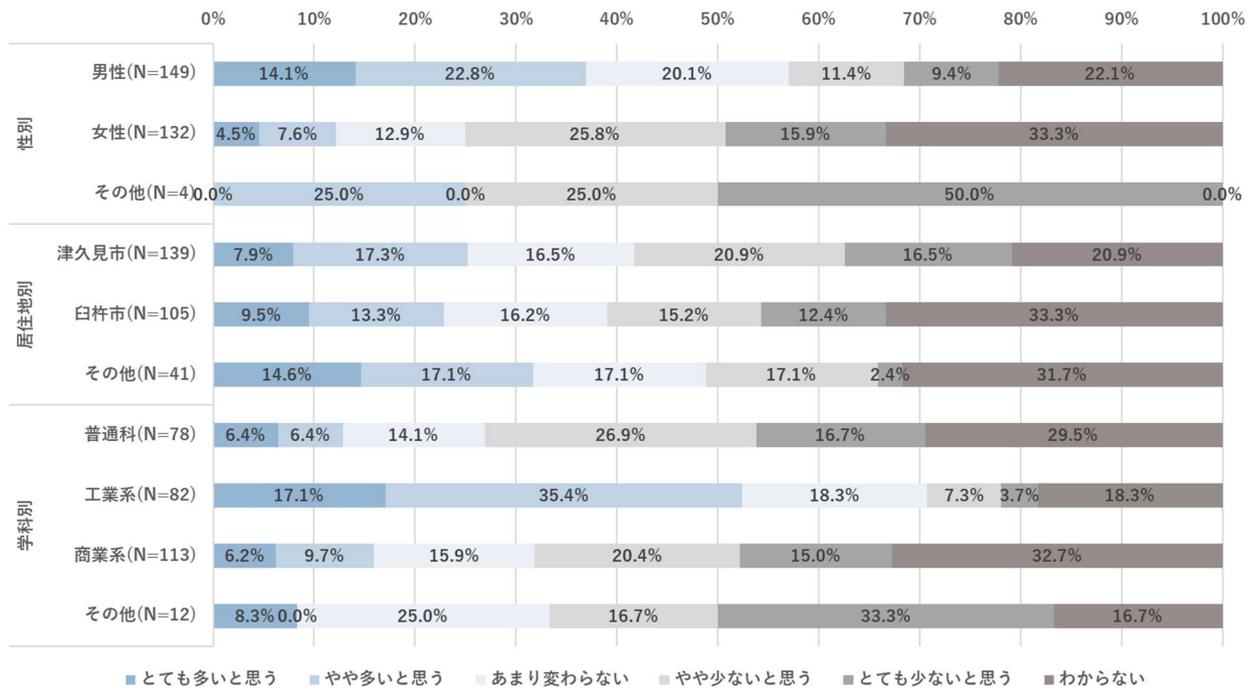


図 3-22 Q25 属性別集計

Q26. 津久見市には就職先が少ないと思う理由 (Q25 で「やや少ないと思う」「とても少ないと思う」を選択された方)

津久見市に就職先が少ないと思う理由として、「希望する職種がないから」「大きな企業がないから」という理由が多く挙がりました。女性や普通科・商業系学科の高校生にとって、望ましい職種や企業をいかに津久見市にもたらすかという観点は重要と言えます。

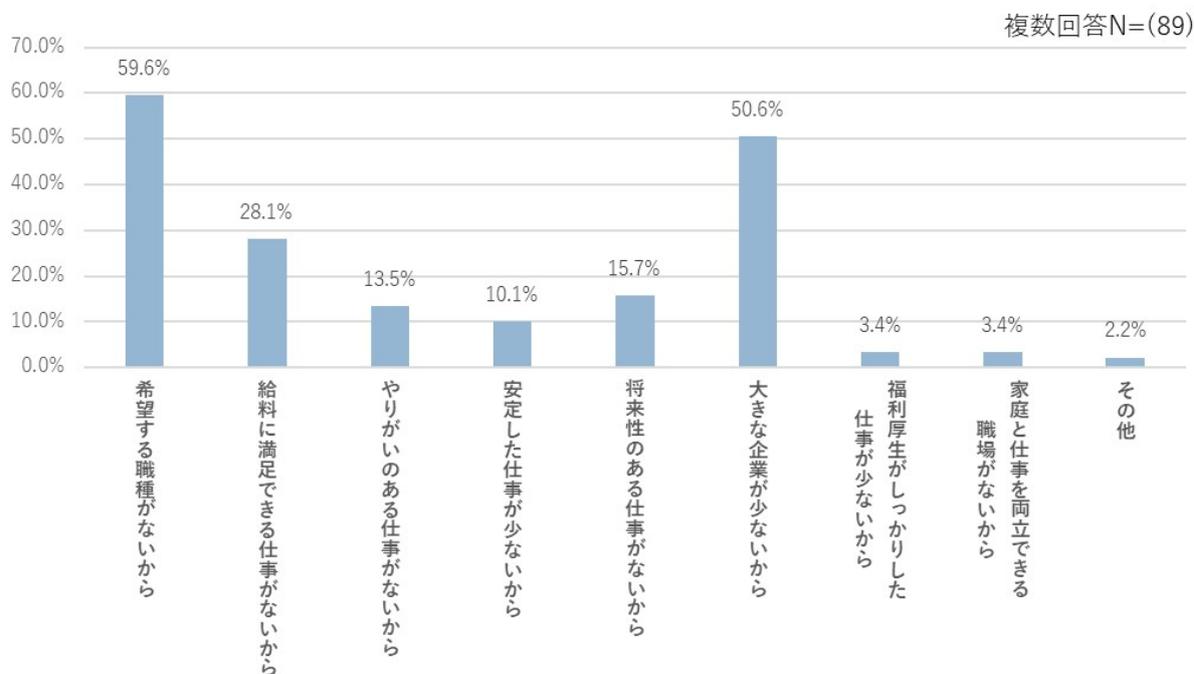


図 3-23 Q26 単純集計

複数回答N=(89)

	全体	性別			居住地別			学科別			
		男性 (N=31)	女性 (N=55)	その他 (N=3)	津久見市 (N=52)	臼杵市 (N=29)	その他 (N=8)	普通科 (N=34)	工業系 (N=9)	商業系 (N=40)	その他 (N=6)
希望する職種がないから	59.6%	51.6%	63.6%	66.7%	59.6%	62.1%	50.0%	52.9%	55.6%	60.0%	100.0%
給料に満足できる仕事がないから	28.1%	22.6%	30.9%	33.3%	30.8%	27.6%	12.5%	38.2%	22.2%	22.5%	16.7%
やりがいのある仕事がないから	13.5%	3.2%	16.4%	66.7%	15.4%	10.3%	12.5%	11.8%	11.1%	15.0%	16.7%
安定した仕事が少ないから	10.1%	9.7%	10.9%		7.7%	6.9%	37.5%	5.9%		15.0%	16.7%
将来性のある仕事がないから	15.7%	9.7%	16.4%	66.7%	19.2%	6.9%	25.0%	14.7%	11.1%	15.0%	33.3%
大きな企業が少ないから	50.6%	54.8%	50.9%		51.9%	44.8%	62.5%	50.0%	44.4%	57.5%	16.7%
福利厚生がしっかりした仕事が少ないから	3.4%	3.2%	3.6%		1.9%	3.4%	12.5%		11.1%	5.0%	
家庭と仕事を両立できる職場がないから	3.4%	9.7%			1.9%	6.9%		2.9%	11.1%	2.5%	
その他	2.2%	3.2%	1.8%		3.8%			5.9%			

上位1位 (男性), 上位2位 (津久見市), 上位3位 (普通科)

図 3-24 Q26 属性別集計

Q30. 将来津久見市に住みたいか

将来津久見市に「住みたいと思う」「どちらかといえば住みたいと思う」と回答した高校生は2割にも満たない結果となりました。津久見市に住む高校生に限定しても、その割合は3割に届かないことがわかります。

この結果はQ22で得た、津久見市への親しみや愛着が「とてもある」「ややある」と回答した割合と比較すると非常に低く、将来の人口減少を防ぐためにはこの割合の上昇を図る必要があると言えます。

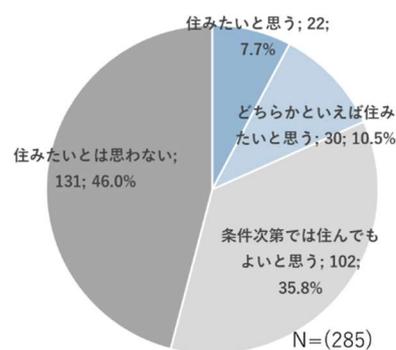


図 3-25 Q30 単純集計

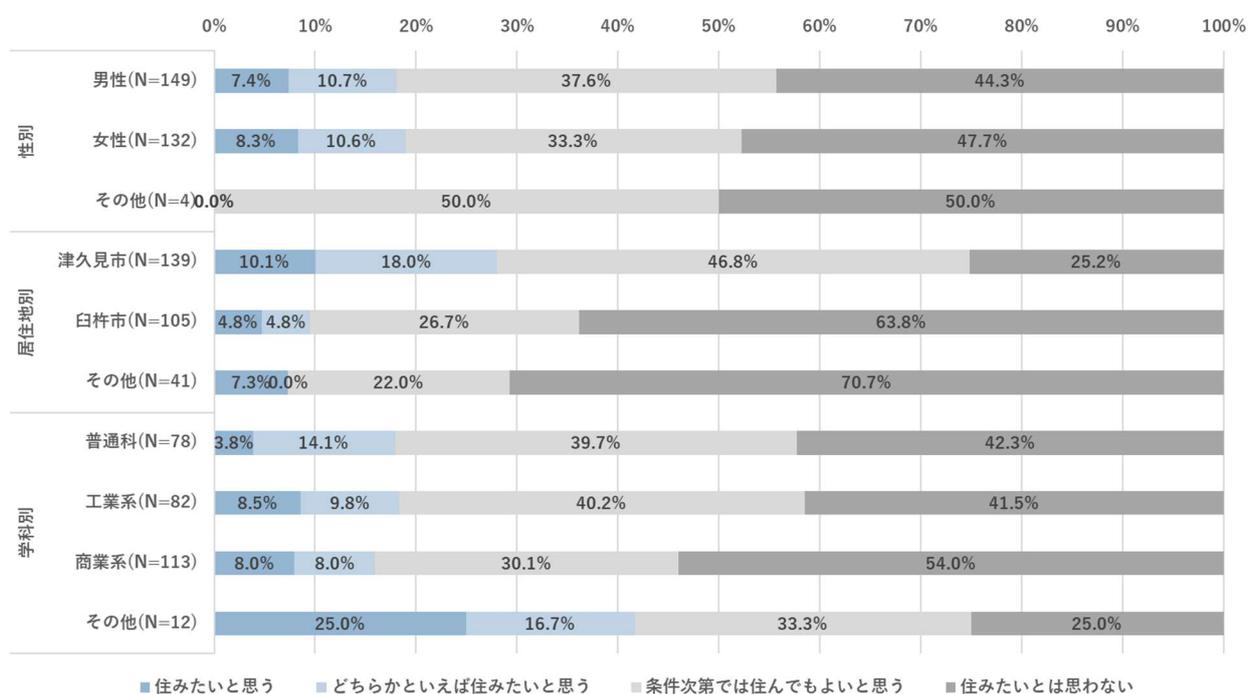


図 3-26 Q30 属性別集計

3. 第3章まとめ

以上の質的調査の結果から、今後の津久見市における人口動態の方向性や課題が見えてきます。

(1) 雇用・働きやすさの観点から

市民アンケート調査の結果によると、津久見市の地元産業やそれに関連する企業等の恩恵を受けている市民にとっては、津久見市は働く場所として魅力的である一方、希望する職種や仕事内容が少ないと感じる市民にとっては、津久見市の働く場所の充実度が低く感じられることがわかりました。そして、後者にあたる市民の方が圧倒的に多いことは、今後の人口動態にも影響を与えることが考えられるため、津久見市における雇用・働きやすさの改善が図られる必要があると言えます。

また、高校生進路アンケート調査の結果によると、津久見市に住む高校生のうち、県内就職を希望する生徒の半数以上が、津久見市への就職を希望しているという前向きな傾向が見られた一方、津久見市の就職先が少ないと感じる高校生は、その理由として、市民アンケート調査の結果と同様、希望の職種や企業がないことを多く挙げています。

(2) 結婚・子どもの観点から

市民アンケート調査の結果によると、未婚の方が抱く結婚に対する考え方は多様であるため、特定の対策や取組によって、津久見市内の結婚状況の改善が見込めるわけではないことが考えられます。

一方で、理想と現実の子どもの数に乖離があることの要因としては、結婚していない人の存在のほかに、子育てにかかる支出及びそれをまかなうための収入に対する不安がうかがえる結果が得られました。しかし、全体の8割以上が2人以上の子どもを持ちたいという意向があることを踏まえると、これを実現するための施策に取り組むことで、人口減少の改善を図れる可能性が考えられます。

(3) 高校生の進路の観点から

高校生進路アンケート調査の結果によると、卒業後の進路の希望を津久見市内とする高校生は、回答者のうち約1割と非常に少なく、進学・就職のタイミングにおける若者の市外転出の傾向がアンケート調査からも裏付けられたと言えます。

また、将来津久見市に住みたいと思う高校生が2割にも満たないという結果は、今後の人口減少の改善を考えるうえでは、非常に厳しい結果と言えます。一方で、多くの高校生が津久見市に親しみや愛着を抱いていることも明らかとなっているほか、県外就職を希望する高校生は「1度は県外に出たい」という希望を持っており、UIターンへの期待も見込めると考えられます。彼らに将来津久見市に住みたいと思ってもらえるための対策を講じることで、人口減少改善の糸口を探りたいところです。

第4章 津久見市の将来人口推計

1. 人口推計シミュレーション

(1) 市の将来人口推計

ああ